



ものづくり広報

企業自己診断による支援をスタートします

「自社の健康診断を行いましょう」わたしたちは、健康診断を行うことにより体調管理の意識が芽生え、健康な心身を保つことができます。これは企業経営にとっても同じことがいえます。定期的に「経営」「企業」「現場」のこと、それぞれの体質を経営者自らが診断することで、健全で魅力的な企業経営が可能となります。

ものづくり産業支援センターでは、なかなか経営者だけでは気付きにくい項目について、専用の自己診断ツールを用いて、短時間で日ごろの悩みや課題などのあぶり出しができるような「企業自己診断チェックシート」を作成しました。このチェックシートは「経営体質」「企業体質」「現場体質」の3分野について、自社の強み弱みが手軽に診断できるような仕組みとなっています。

チェック	1	2	3	4	5
状態をみる	債務対照表を みている	借入金残存 額	自己資本比率 （自己資本/総資本）	流動比率 （流動資産/流動負債）	固定 比率
金状態をみる	損益計算書を みている	経常利益率 （経常利益/売上高）	利益分給点稼働率 （分給点稼働率）	稼働率管理 している	稼働 率
のり	資金繰り表を みている	長期借入金 の割合	借入金返済計画 の状況	借金管理を している	借金 の割合
のり	付加価値を みている	一人あたりの 付加価値は	付加価値は	付加価値を みている	付加 価値

▲企業自己診断チェックシート

「利益が出ないのはなぜ？」「不良が再発するのはなぜ？」「人が育たないのはなぜ？」など、どのような疑問でも構いません。当センターにご連絡ください。専門アドバイザーが秘密厳守の上、自己診断をお手伝いします。また、自己診断により把握できた自社の課題については、センターによる現場支援や人材育成支援により、その解決に向けてバックアップしますので、併せてご活用ください。



フォーカス ものづくり

企業の人・もの・技術・地域とのつながりを紹介

総和産業株式会社 鈴鹿工場

住所：御園町3600-26

TEL：059-372-2236

FAX：059-372-2224

（シート用樹脂部品等 自動車内装部品の製造）

今回は、外国人の方が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる総和産業（株）鈴鹿工場を紹介します。

総和産業（株）は自動車内装部品を製造しており、多くの外国人の方が働いています。こうした方が働きやすい職場環境を整備することで、生産性の向上が図られるよう、さまざまなユニークな取り組みを行っています。例えば、日常作業での安全点や留意点などは毎朝ポイントを絞って通達し、作業手順などは日本語とポルトガル語を併記し、内容によってはイラスト画像も活用して、十分理解ができるよう各職場ごとに掲示しています。さらに、これら作業手順を説明した後も理解度を定期的にチェックしたり、自己申告制により個々の習得度合いを上司は把握するなど、徹底した取り組みを行っています。

このような取り組みの結果、多くの方は日本語をスムーズに理解することができ、ベテランの中には、複数の業務を掛け持ちできるほどに日本語を習得した方もみえます。

しかし、徹底した取り組みの中にも改善点があり、例えば、エンドユーザーからの仕様変更に伴う迅速な手順書の改訂、掲示作業などは部品点数も多く、二か国語で掲示するにはかなりの時間を要します。こうしたさまざまな現場の課題解決に向けて、今後もものづくり産業支援センターの支援を活用していく予定とのことです。

「外国人の方が働きやすい職場は日本人も働きやすい職場である」。総和産業（株）の取り組みはさらに加速します。

1 左記の①～④の順番で検査を行う事

①～④の検査を同時に検査をしない事

Ser inspeccionado en el orden de ① ~ ④ en el lado izquierdo

Al mismo tiempo que no se desea comprobar la inspección de ① ~ ④

2 ①溝を真上にした状態にして検査を行い、溝キズを目視で検査する。

バリ、キズ発見時は、責任者に報告する事

Inspeccione visualmente las rebabas, rasguños ranura inspección por parte del

Estado estaba justo encima de la ranura.

Las rebabas, rasguños sobre el descubrimiento, se informará a la persona a cargo

3 ②溝検査後、シームを真上にして規定の位置にあるか目視で検査する。

シーム位置ズレが頻発した場合は、責任者に報告する事

Groove después de la inspección, que inspeccionar visualmente la posición

especificada o justo por encima de la costura.

Si la desviación de la posición ocurrido con frecuencia costura se informará a

la persona responsable

▲二か国語で併記した作業手順

支援活動事例紹介：新入社員自社研修のテキスト・カリキュラムが完成

柳河エンジニアリング株式会社 三重事業所 業務内容：脱水機の製造、販売、メンテナンス

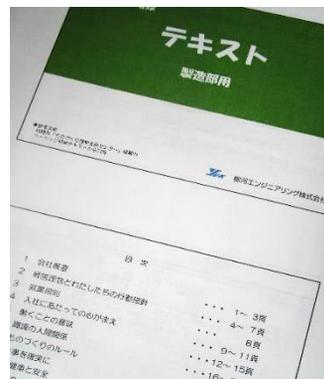
○支援テーマ：ベーシック研修講師 育成指導支援

新入社員をどのように研修して自社の戦力として育てていくのか。人材育成のノウハウをつかむことは、企業の成長にとって欠かすことができない課題の一つです。今回は、新入社員研修を自社で実施するために必要なテキストやカリキュラムの作成と担当講師の育成にポイントを置いて支援を行いました。

支援では、ものづくり産業支援センターがベーシックの集合研修で使用しているテキストを基に内容の解説、話し方のポイントなどについて説明し、このテキストをベースにして「柳河エンジニアリング（株）版」のベーシック研修テキスト、カリキュラムの作成、研修方法についてのアドバイスを行いました。

支援の結果、「製造部用」「営業部用」のテキストと研修カリキュラムが完成。担当者からは、「今年度採用の新入社員の研修から早速活用しています。今までの研修はそれぞれの現場任せの運用でありましたが、今回の支援により、自社で体系的に新入社員研修を行うことができ、社内全体で認識の共有化が図れました」との声をいただきました。

当センターではベーシック、リーダー、マネジメントの集合研修、企業に出向いての出前研修のほか、現場支援として自社での研修講師の育成支援も行っていますので、お問い合わせください。



▲完成した自社テキスト

鈴鹿工業高等専門学校 共同研究推進センターを紹介します

鈴鹿高専共同研究推進センターは、地域の企業と鈴鹿高専がさまざまな共同研究を行うための中核となる施設です。本センターには材料分析室を設けており、透過型電子顕微鏡（TEM）、走査型電子顕微鏡（SEM-EDX）、集束イオンビーム加工装置（FIB）、フーリエ変換赤外分光光度計（FTIR）、原子吸光分析装置、顕微ラマン分析装置など、多数の高度な分析装置を設置し、開放しています。企業の皆様の技術的な課題の解決に向け、これらの装置を活用してお手伝いします。



▲走査型電子顕微鏡（SEM-EDX）



▲原子吸光分析装置

このように、本校はさまざまな形で企業のニーズにお応えしています。今後も、地域に根ざした工業系の高等教育機関として、地域産業と地域社会に貢献していきますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

問合せ：鈴鹿高専総務課地域連携係（Tel059-368-1717）



▲共同研究推進センター外観